

保育総合研究会
臨時

News

VOL.9 2020.9.11

発行人 保育総合研究会 会長 梶沢 幸苗
発行元 事務局長 社会福祉法人 東明会
飯沼こども園 理事長 東ヶ崎静仁
〒311-3153 茨城県東茨城郡茨城町上飯沼 1276-1
029-292-6868 Fax 029-292-3831
E-mail iinuma-n@ans.co.jp

広報遅くなりました。今回は今後の予定が沢山有ります。
全国会員数 97名

今後の予定 1) 第66・67・68回 オンラインで定例会決定⇒会員限定

第66回坂崎 第67厚労省福祉基盤課 第68回北野先生

参加費は全て無料。全て申込書必要です。資料はメールで全員に送ります。

ZOOM入室のURL等については定例会近くになってからメールでお知らせしたいと思います。

尚、Zoomに慣れていない人もいると思うので予行練習します。

◆zoom予行練習 日時 **令和2年 9月17日(木)** 13:00-14:00

※ 予行練習及び定例会のURL等は送付文章・メールに載せます

◆第66回定例会 日時 令和2年 9月23日(水) 13:00-15:00

報告:花沢会長 令和2年度保総研の活動状況

講師:坂崎副会長 講演名「喫緊の保育の課題を考える」

◆第67回定例会 日時 令和2年 10月20日(火) 13:00-15:00

講師:厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 企画調整専門官

初鹿 知香様 講演名「社会福祉法人連携推進法人を考える」

◆第68回定例会 日時 令和2年 12月 1日(火) 13:00-15:00

講師:神戸大学・大学院准教授 北野幸子先生

講演名「評価を活用した保育の質の維持・向上」

今後の予定 2) 今後の7プロポジション まとめの zoom 会議

会議のまとめ⇒各委員会の関係者の方はご参加ください

第2委員会 日時 令和2年 9月28日(月) 17:00-18:30

第3委員会 日時 令和2年10月 1日(木) 17:00-18:30

第1委員会 日時 令和2年10月 5日(月) 10:00-11:30

提言のまとめ⇒各委員長・事務局長他関係者はどなたでもご参加ください。

委員長会議 日時 令和2年10月 8日(木) 10:00-12:00

検討委員会⇒三役・事務局 梶沢・森田・田和・東ヶ崎・菊池・坂崎 伊東・※各委員会アドバイザー各位

検討委員会 日時 令和2年11月に計画しています

※坂崎よりアドバイザーその他の方に文章を送付してご意見を賜ります。

今後の予定 3)保総研 第5回 三役・事務局 zoom 会議

日時 令和2年10月15日(木) 13:00-13:45 出席 桜沢・森田・田和・伊東・東ヶ崎・菊池・坂崎

議案 1.役員会の開催について 案件①日時について決定 ②次期役員素案について

2.年次大会について 集合研修方式 日時

3.7プロポジションの報告と今後の進め方について(坂崎説明)

◆7プロポジション全員説明会 令和2年度年次大会にて発表 1時間程度

※20周年記念誌を作成については遠藤浩平編集長と坂崎電話会談をしました。コロナの状況を鑑みて
いずれの時期に仙台等で話し合おうという事になりました。

☆初めてのオンライン役員会を行います。

今後の予定 4)保総研 役員 zoom 会議を開催します

日時 令和2年10月15日(木) 14:00-15:30 役員の方全員参加ですよ

議案 1.年次大会について

2.保育サポートブック 年齢別クラスの教育改訂版について

3. 次年度役員改選等について

報告 1)7 プロポジションの zoom 会議終了 章立て概略再掲

第1委員会 第1章 9月5日(土) 10時00分～11時00分

第2章 9月2日(水) 16時30分～17時30分

第3章 9月2日(水) 9時00分～10時00分

第2委員会 第4章 8月17日(月) 17時00～18時00分

第5章 8月26日(水) 17時00～18時00分

第3委員会 第6章&第7章 8月25日(火) 17時00～18時30分

第1委員会 各委員会でまとめ方が違いますのでご了承ください◇

第1委員会 『主に社会・地域に必要な乳幼児期の施設等』11名

委員長 坂崎 力紀(青森) 副委員長 松永 和孝(熊本) 今野 真洋(秋田) 勇 まり子(三重) 事務局長

打田 公平(岩手) 事務局次長 倉内 真理(青森)

アドバイザー ☆平山 猛(熊本) 田和 由里子(広島) 原本 宏志(青森) 打田 修子(岩手) 東口 房正(大阪)

第1章 人口動態 乳幼児教育・保育の課題とそのアプローチ				
No.	テーマ	内容(例)	執筆担当者	意見担当者
1	・今後の人口動態と2040年の社会の在り方	・日本の深刻な三元化とその格差(待機・普通・過疎地)	松永	東口
2	・乳幼児期の環境	・過疎地の問題(少ない園児数に対する施設の在り方) ・2040年の大都会問題(待機児童とか)	今野	修子
3	・省庁三元化の問題と再編	・子ども省の創設 その経過をどう考えるか	原本	東ヶ崎

第2章 これからの乳幼児施設の役割				
4	・社会・地域のすべての子供を見る施設の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に関係ない施設 ・保育の主体者(権利者は)はこどもである ・教育と保護を受けられる施設 	勇	坂崎隆浩
5	・どういう教育・保育を用意すべきか	<ul style="list-style-type: none"> ・園児は何歳から入れるべきか ・満1歳児から就労に関わりなく園に入るメリットと仕組み ・0歳児から積み上げられ、全ての施設が学校教育に位置付けられている仕組み ・5歳児の教育の義務化 ・1歳児からの保育の義務化 ・満3歳児問題 障害児関係 ・入所してない家庭保護者や子供への支援・障害や病児 	平山	りき
第3章 望ましい施設の一元化と施設に必要な職員等				
6	・施設の一元化	<ul style="list-style-type: none"> ・総合施設化してこども園と称した中で現行の幼稚園や保育所を包含する。全ての子育て支援を包含するのは難しいか。但し、小規模等は一考必要。1・2・3号+0号保育 	松永	東口
7	・役職と保育教諭の専門職としての格付け	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの施設での必要な職員を検討する ・園の規模による職員の在り方を検討 ・保育所も含め園長の在り方 園長の必須化と園長になる為のキャリアアップ 教頭・副園長の意義と存在 教頭による計画等を含む指導者としてのキャリアアップ 園の規模による副園長の配置 	坂崎 りき	田和

		<p>(副園長は保育的な人も事務長的な人もキャリアアップとして進めるようにする)</p> <p>現主幹保育教諭と主任保育士の統合</p> <p>保護者の子育て支援はとどめとしてキャリアアップの中心</p> <p>保育教諭と保育士の名称統合と働き方(名称統合と名称独占)</p> <p>看護師・栄養士・事務・保育補助・用務員の必要性</p> <p>看護師等はある大きさから必須</p> <p>栄養士等大変重要な役割</p> <p>事務も大変重要な役割</p> <p>保育士等の助手は、保育教諭周辺作業や研修等を考えても必要</p>		
8	・新たな職種 消える職種	<p>子育て支援士・保育カウンセラー</p> <p>地域の子育て支援や保護者支援の専門家</p> <p>障害児支援者 これは絶対必要 記録者</p> <p>労務士 会計士の在り方</p> <p>病児関係はその他 ・職員として何が必要かこれは重要な事項</p>	倉内 まり	修子
9	・保育者の働き方の提言	<p>・20年後の働き方を模索</p> <p>今すぐできることと今後は正</p> <p>様々な働き方を提示</p> <p>オンラインをどう生かして今なのか</p> <p>1日の労働時間 1週間の労働日数 テレワーク 事務仕事</p>	打田 公平	東口

第2委員会『主に教育・保育について』

◆第2委員会『主に教育・保育について』11名

委員長 高月 美穂（大分） 副委員長 吉本大樹（熊本） 本田小百合（熊本） 高月善徳（大分）

事務局長 菊地 渉（茨城） 事務局次長 加藤 要貴（長野）

アドバイザー ☆田中 啓昭（大阪） 岩橋 道世（大分） 隅崎 哲也（鹿児島） 百瀬 浜路（埼玉） 福澤 紀子（青森）

第4章 要領と指針の一元化及び評価の在り方

担当メンバー 委員長：高月美穂 副委員長：吉本大樹、高月善徳 事務局菊地渉 アドバイザー：福澤紀子、岩橋道世

- ・0歳からの発達の連続性は当然
- ・乳幼児教育の理解は、小学校への接続も含めてできれば5歳児の義務化はいずれやっていきたい。もし施設の統合が成った段階では2号、満3歳から学校教育に位置付けていくのが望ましい。5歳児の義務化となれば無認可はなくなるだろう。
- ・大きく1章や2章か分からないが、その他の部分として子育て支援や食育、災害は今後、現行の幼稚園に関わらず必要だから議案に入れておく必要があるのではないか
- ・自らの評価と外部の評価が必要・監査が運営、処遇に偏っているので、保育そのものの評価をしてもらう第三者評価のようなものではない仕組み（指導、カリキュラムマネジメントの確認）が必要・要領の統一が必要
- 2025年こども（保育）要領作成に向けて（吉本先生、福澤先生）
今後子どもが少なくなっていく中で、現行のように施設で分かれてるのはおかしいのではないかと？早めに1本にした方がいいのではないかと。その中で、言葉の使い方などを互いに整理し、新しい時代に向けた指針や要領を一つにすべき
- ・保育とは乳幼児教育である・2040年のスマート保育に向けて
- 現要領・指針の精査（高月善徳先生、福澤先生）
現行の幼保認この要領指針を比較し、ここは関連してるがここは異なっている
- 一元化へ向けて（高月美穂先生、福澤先生）

発達、教育、支援のようなことは必要だろう。子ども保育要領の中に評価のことも載っているの、評価についてはこう考えます・0歳からの発達の連続性・乳幼児教育の理解と小学校の接続・子育て支援、食育、災害等

- 評価制度等の構築（渉、福澤先生）・自己評価と他者評価・保育の評価
- 子ども保育要領作成（岩橋先生、福澤先生）幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領をベースにするとうい

第5章 保育教諭と園児の定数と教員資格化と働き方

担当メンバー 委員長：高月美穂 副委員長：本田小百合 事務局：菊地渉、加藤要貴 アドバイザー：田中啓昭、隅崎哲也、百瀬浜路

- 発達から見る望ましい定数の考え方 ・現行の定数と理想的な定数と保育環境
- 保育と計画の分業化
- 教員・教諭資格の在り方、保育教諭の働き方
- 研修の在り方

第3委員会『主に制度について』

◇第3委員会 『主に制度等』12名

委員長 伊東 俊樹（新潟）副委員長 青木恵里佳（東京）菊池晃（岩手）東ヶ崎拓樹（茨城）

事務局長 椋沢伊知郎（青森）事務局次長 田口 侑平（神奈川） 渡辺 謙（茨城）

アドバイザー ○永田 久史（大阪） 矢野 理絵（熊本）古川 豊（熊本）椋沢さやか（青森） 塩坂 北斗（東京）

第6章 待機児童地域と中間地域と過疎地域の施設や保育の方法及び保育事業

- 基本的地域共生社会の実現 矢野→坂崎 ・インクルージョン ・共生・協働・公助・連携
- 地域の在り方、捉え方(待機児童地域・中間地域・過疎地域)
 - ・待機児童地域： 青木・田口 ・中間地域： 菊地・拓樹 ・過疎地域： 椋沢伊知郎・伊東

- これから求められる補助事業 拓樹 →永田 ・整備補助事業 ・その他
- 現行制度の見直しと改善 塩坂→坂崎 ・子育て支援事業(認可)、子育て支援センター ・土曜日保育
- 保育・教育の運営におけるリスクマネジメント 青木→矢野・感染症 ・自然災害 ・人災

第7章 財源と今後の法人の在り方

- 法人運営における財源について 伊東→東ヶ崎 ・積み上げ方式等の堅持をどう考えるか・公定価格の在り方をどう考えるか・内部留保の必要性
- これからの法人の在り方 永田 さやか ・学校法人と社会福祉法人・連携法人について・無認可等の在り方(小規模、企業型)・法人としての経営(まとめ)
- 再度社会インフラ保育所等の位置づけ 田口→古川 ・三本立ての是非
- 現行制度で2040を迎えるために 古川→栲沢 ・生き残るに先を見据えた行動
- まとめ 伊東→坂崎

報告2)保育サポートブック 0・1歳児から5歳児クラスの教育のzoom会議

会議日 9月3日(木) 16時30分～18時15分 担当 坂崎

※18時15分には終わってしまいました。ありがとうございました。

0.1歳児担当 16時30分～17時00分 担当者 福澤・栲沢香・青木・栲沢さ

2歳児担当 17時00分～17時30分 担当者 東口・高月・秋山・栲沢さ

3歳児担当 17時30分～18時00分 担当者 田和・遠藤浩平・岩橋・坂崎り

4歳児担当 18時00分～18時30分 担当者 矢野・森本・永田・坂崎り

5歳児担当 18時30分～19時00分 担当者 只野・平山・田中・坂崎り・松永

全体 栲沢会長 栲沢さやか 東ヶ崎 栲沢いちろー 坂崎りき

報告 3) ペセラの年次大会がコロナによって変更になりました(北野先生情報です)

2021 令和 3 年度 ニュージーランド 2022 令和 4 年度 香港

2023 令和 5 年度 インドネシア 2024 令和 6 年度 日本・東京の予定

報告 4) 水落先生で園内研修してみました⇒(坂崎ご推薦です)

椛沢先生の処と私坂崎の処で水落先生の体操研修をしました。75分コースでしたが、とても楽しい研修でした。意外に難しいオンライン研修ですが、当人はとてもこの辺の事を良く知っているのでzoomでもチームスでもとても上手に研修をしてくれます。コロナ渦の中、オンラインも聞きっぱなしの研修が多い訳ですが、体を動かしながら、頭を使いながらの園内研修はお勧めです。是非とも、連絡して皆さんもオンラインでの園内研修を行いましょう。ちなみに筒井先生のところも園内研修をしました。

ご希望の方はこちらまで 東海学園大学 教育学部教育学科 准教授 水落洋志

〒468-8514 名古屋市天白区中平二丁目 901 番地

Tel: 052-801-1649

E-mail: mizuochi-h@tokaigakuen-u.ac.jp

今回の情報提供 ☆2020年 令和2年度定例会等9月事業予定

◆zoom 予行練習 日時 令和2年 9月17日(木) 13:00-14:00

◆第66回定例会 日時 令和2年 9月23日(水) 13:00-15:00

報告:桜沢会長 令和2年度保総研の活動状況 講師:坂崎副会長 講演名「喫緊の保育の課題を考える」

P1-2 zoom オンライン定例会決定

P3 7プロポジション zoom 会議予定 P4 三役会&役員会 zoom 会議予定

P5-10 7プロポジション会議報告

P11 年齢別サポートブック&ペセラ日程報告

P13 『保総研の歴史 No.9』今さらながら どうして

北信越の有名人 伊東一男と加藤要瑞という人(ここは坂崎の勝手な思いを書いています。ご勘弁を)

P14 編集誤記ご意見お待ちしております&

当会 HP アドレス http://hosouken.dip.jp/hskblog/_trashed/

◆ 次回No.10 を 9/28 に広報する予定です。内容は厚労省オンライン定例会&研修会についてです。

まあどこの誰でも、若い時はあって私と新潟の伊東はどうにもこうにも意見が合わなかった。掴み合いの二人だったから、東ヶ崎が止めなければ、合気道の達人の伊東に私は相当投げ飛ばされていたに違いないと思う。考えてみたら、人は好きだし、話好き、お酒も好きだし、ついでに選挙も好きだと来たら互いにそっくりじゃないか。いつのまにか、竹馬の友になってしまった。何が凄いつて、まだ長岡市合併前の栃尾市(大きなお揚げで有名です)時代に行った時の豪快さは忘れない。タクシーに乗っても、飲み屋さんも全部つけがきくのだから、どういう家系なのだろうと思った。新潟には前時代の人がいるとびっくりした。もともとは子育て支援部会長だったからタヌキパーティーを企画してくれたりしたが、当人が忙しくなったので副会長になってもらった。クリスマス辺りにタクシーに飛び蹴りをして九死に一生を得たが、当分の間(この場合はずっと)は無理をしないように元気に頑張ってもらいたい。真面目に言うとあの面倒な北信越のバランスをとれるのは伊東しかおらんのため、俊樹頑張って頂戴。心中よりお願い申し上げます。さて、会員の皆様が殆どであったことのない長野加藤要瑞を紹介したい。相当昔の平成7年頃の話。この人見た目は温厚。話し方

Japan

Association of 連合(すること)

Multidisciplinary Research for

多くの学問領域にわたる 研究

Early Childhood Care and

Education

も人間性も超温厚。でも先見性はあの時代当代一と思っていた。ほぼ30年ぶり以上にこの間zoomでお見かけしたが、何にも変わっていない。さてそんな加藤先生の逸話をひとつ。長野オリンピック前の長野で青年部の全国大会があり、青森から夜中12時の夜行に乗り上野で乗り換え昼の12時に着いて会議をしていた。加藤さんにしてみたら、青森の山奥から私が来るのだから最高に美味しいものを食べさせたいと思っただけに違いない。ちなみに行ったのはお寿司屋さんだった。加藤曰く「朝にとれた魚が築地から届く」こと。もちろんとても美味しかったが、長野で生のお寿司だったので意外だった。それがとても貴重なご馳走だったことを、相当後に後になってから気づく。会津に行ったときに昼に遠藤浩平から「チラシ寿司」をご馳走になった。そうだ。海の無い処で生の寿司は最高のもてなしだったのだと。絶対に加藤ともう一度長野で寿司を食いたいと思う今日この頃だ。酒も飲みた-い。

編集誤記

保総研の果たすべき役割はまだまだ続く。その思いが未来を変えます。

令和 2 年度前期事業である 7 プロポジション&サポートブックの概要がほぼ終わりました。これから年度末に向けて、まとめの作業をしたいと考えています。7 プロポジション検討をしてくれる方を会長よりご推薦いただき、今後の保総研の柱になるように進めていけたらと思います。さて年度後半ですので、Zoom によるオンライン定例会がいよいよ始まります。厚労省の社会援護局や北野先生のご厚意で内容の深い、そして確かな情報を皆さんに直にお届けしたいと思います。会としてはなんとか年次大会を集合研修で行いたいという反面、なかなか収束も終息もしないコロナ渦の中で、苦慮しながらも歩みを止めずに一歩ずつ進めていけたらと思います。Zoom 研修で多くの皆様にお会いできることを楽しみにしています。

ご期待ください。当会 HP アドレス http://hosouken.dip.jp/hskblog/_trashed/

この広報に対する内容については下記に電話等でご連絡を頂けると有難いです。

担当：〒039-4222 青森県下北郡東通村砂子又大字沢内 9-35

保育総合研究会 副会長 坂崎隆浩 携帯：090-6252-3699

メール：kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp

(こども園ひがしどおり FAX: 0175-31-0203)